

令和5年度

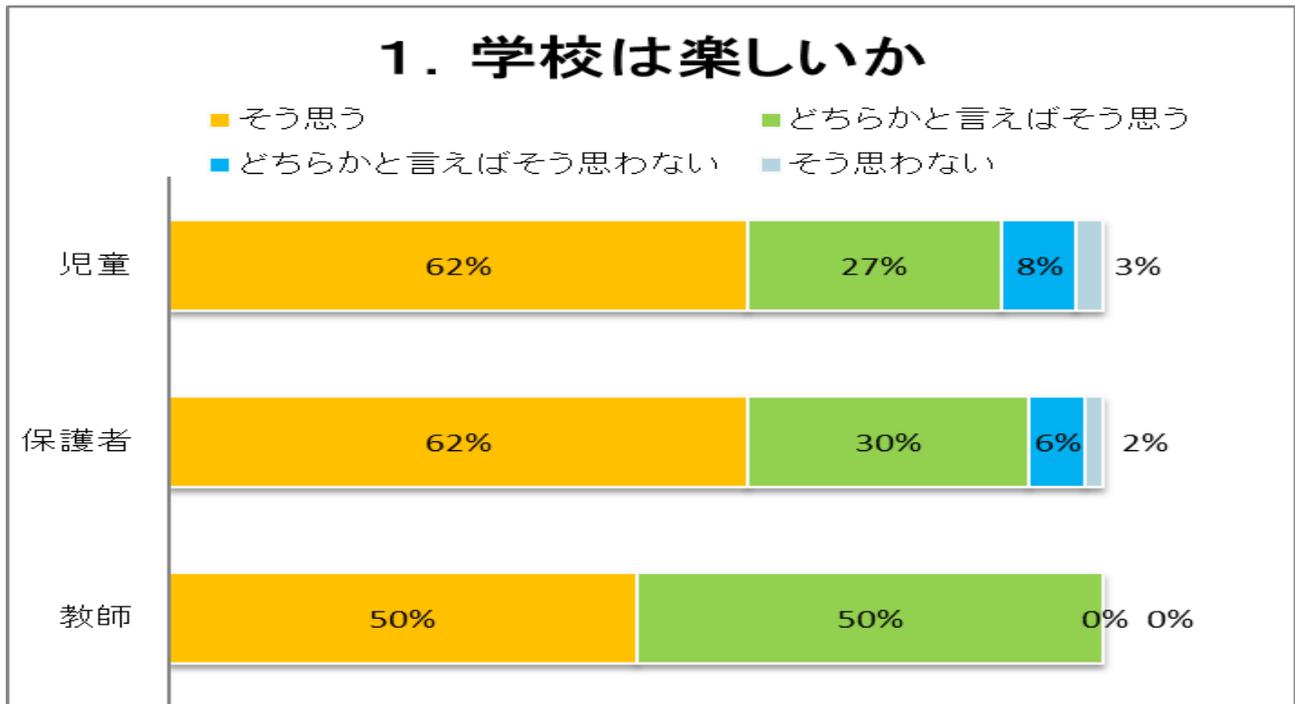
『子どもの笑顔と活力あふれる、  
地域と共に歩む学校』

～ よさをいかし つなぐ教育 ～

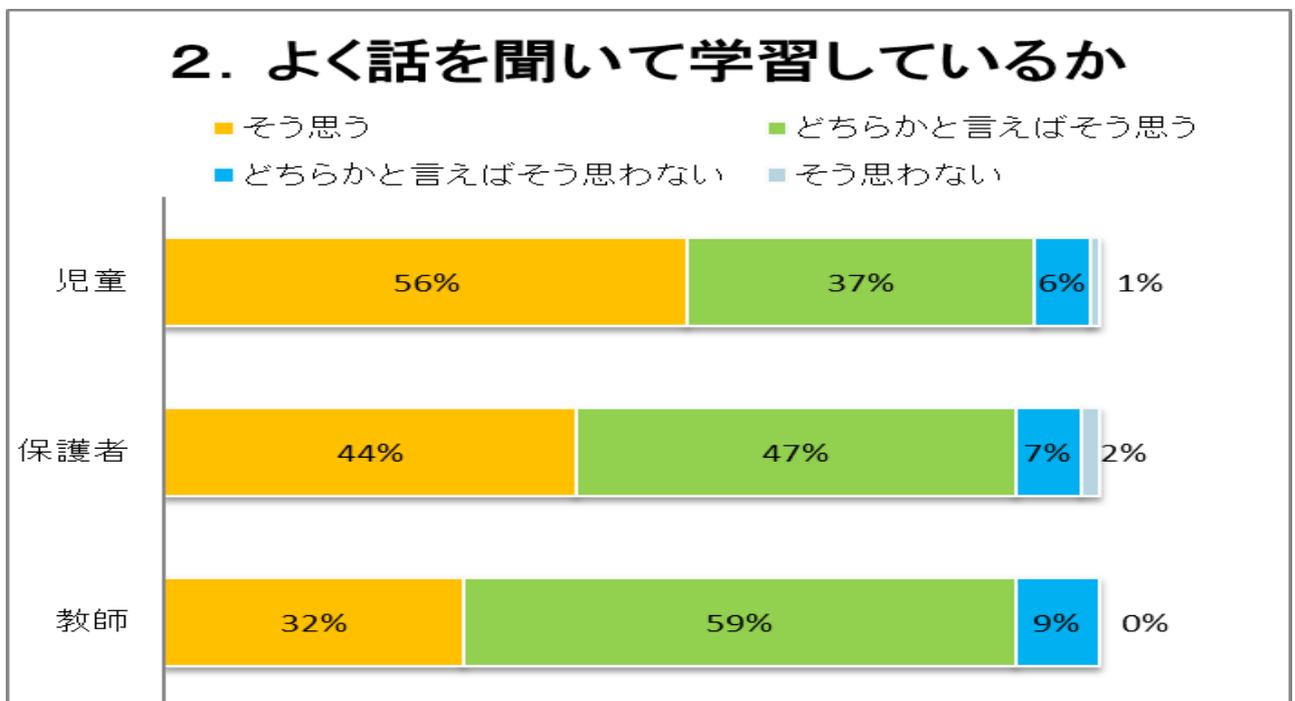
【学校評価アンケート集計結果まとめ】

春日部市立内牧小学校

# 学校評価 I



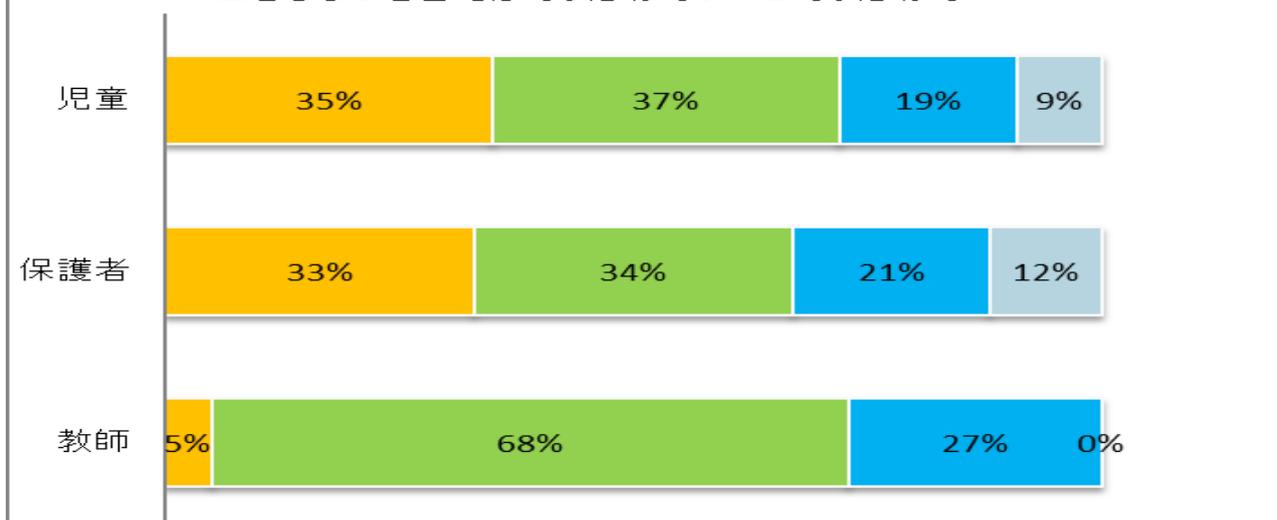
全体的に肯定的な回答となっています。今後も、児童が学ぶ楽しさを味わえる学校を目指して、教育活動の充実を図ります。



肯定的な回答が9割を超えています。「話を聞く」という学習の規律を大切にすることで児童の学力は向上します。今後も話が聞ける児童を育ててまいります。

### 3. 家庭学習をしているか

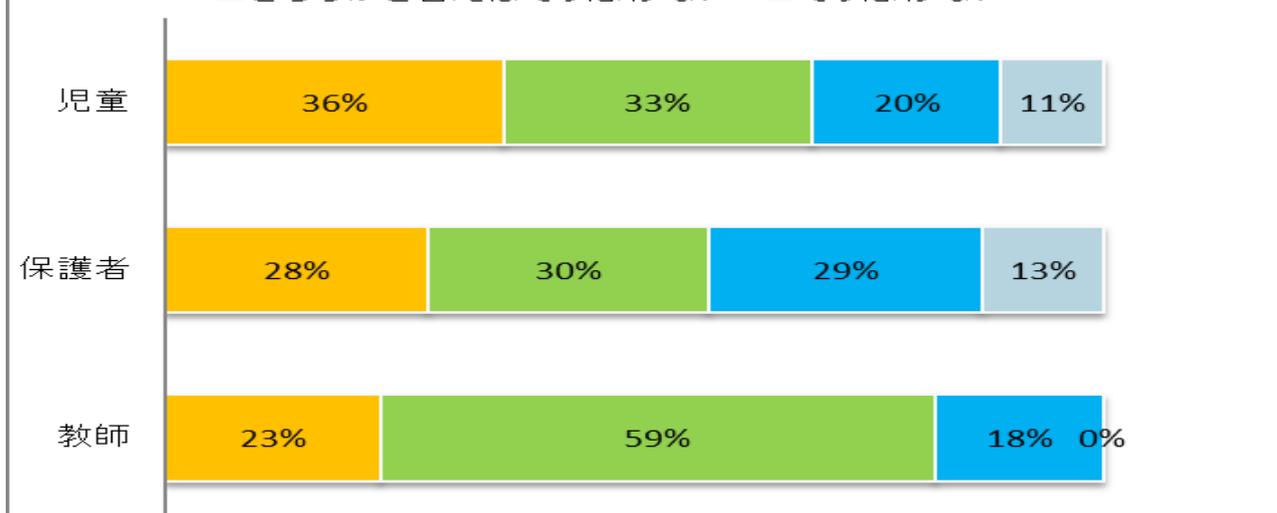
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない



約 7 割の児童が家庭学習に取り組んでいます。ご家庭のご協力に感謝します。学習習慣は学校以外でも定着させることが必要です。今後もよろしくお願いいたします。

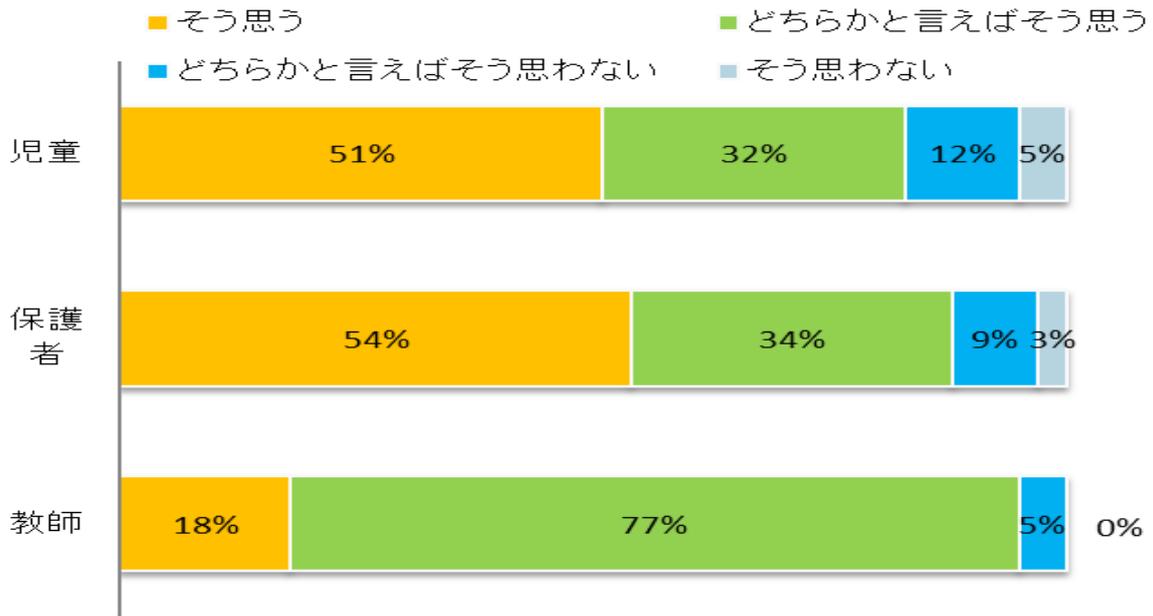
### 4. 本を読んでいるか

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない



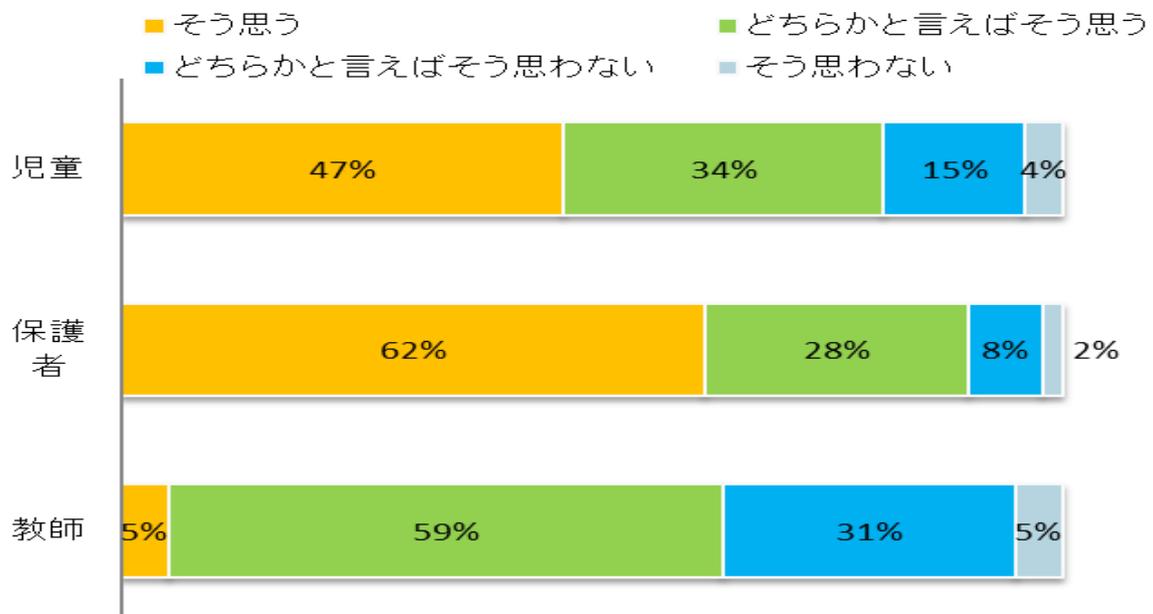
読書習慣は学力の向上のみならず、生涯学習の基礎となります。今後も読書の楽しさを味わわせる指導の工夫をしてまいります。

## 5. 学校のことをお話しているか



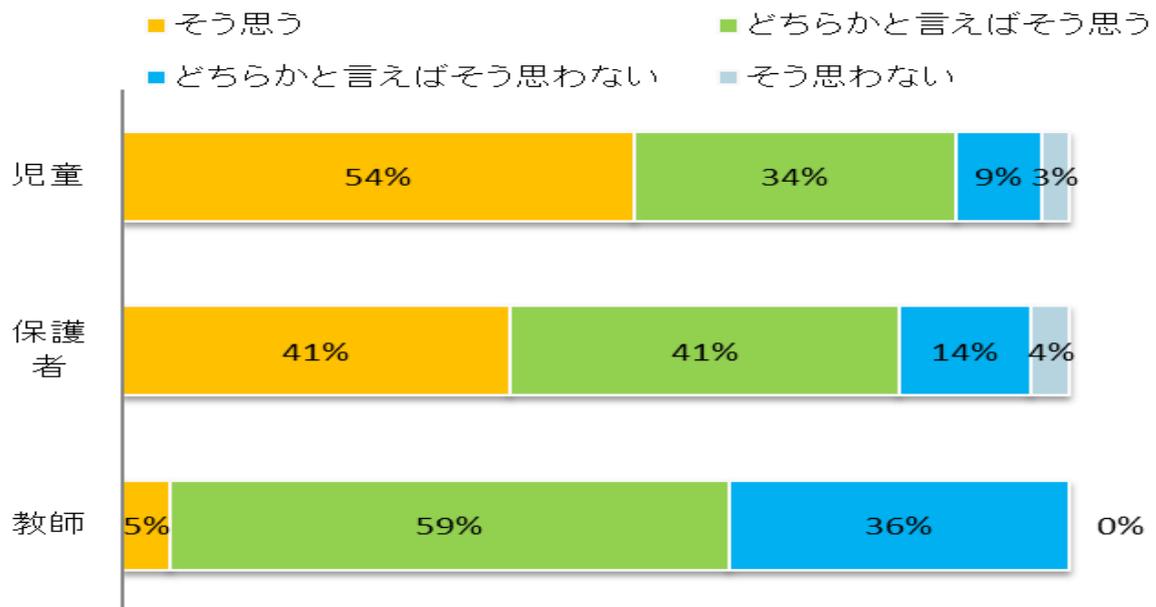
全体的に肯定的な回答となりました。今後も、親子の会話を通して、学校の教育活動について理解を深めていただきたいと思います。

## 6. 明るいあいさつができていますか



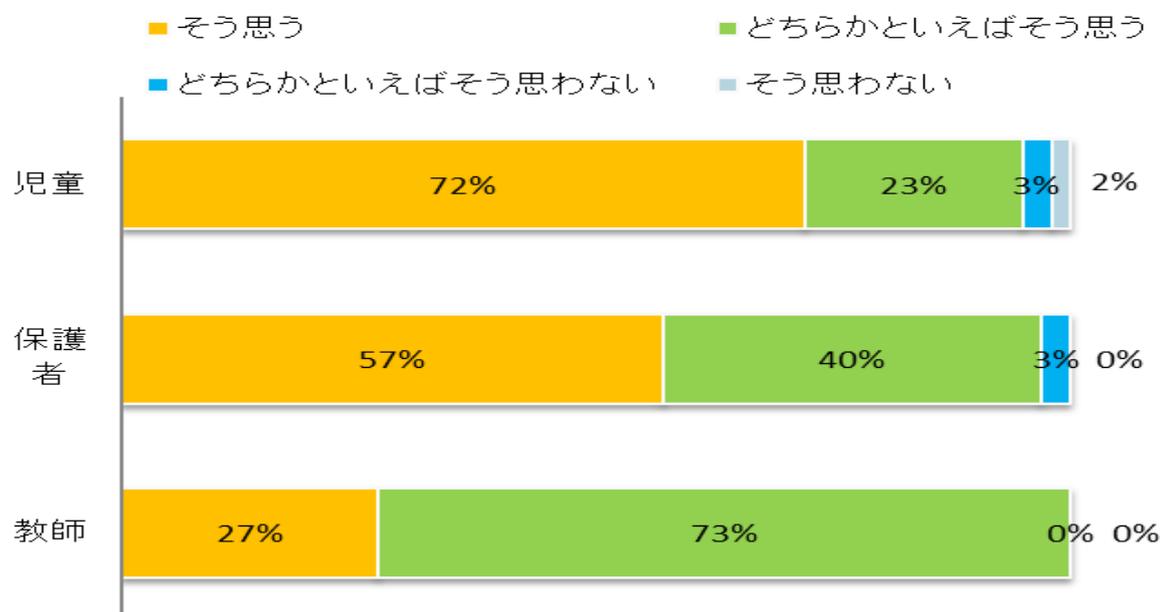
あいさつの習慣化が少しずつ定着しています。どのような場であってもしっかりとあいさつができるよう、今後も積極的にあいさつ運動を続けてまいります。

## 7. 場に応じた言葉使いができているか



肯定的な回答は多いものの、三者の感じ方に差が見られます。今後も、時と場に応じた言葉づかいについて指導してまいります。

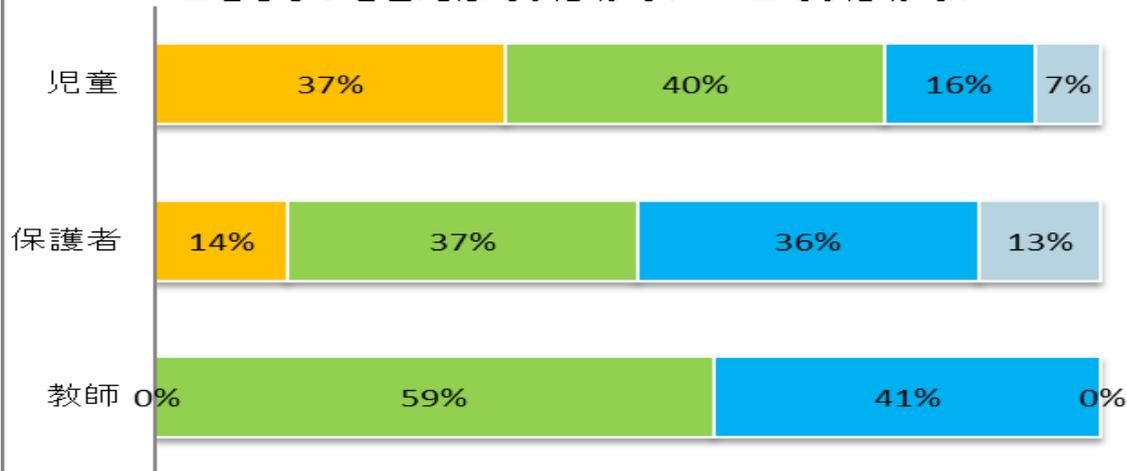
## 8. 友達や他の人と仲良くしているか



全体的に肯定的な回答となりました。今後も、「心の教育」を充実させ、友達を大切にする児童を育成してまいります。

## 9. 整理整頓が身についているか

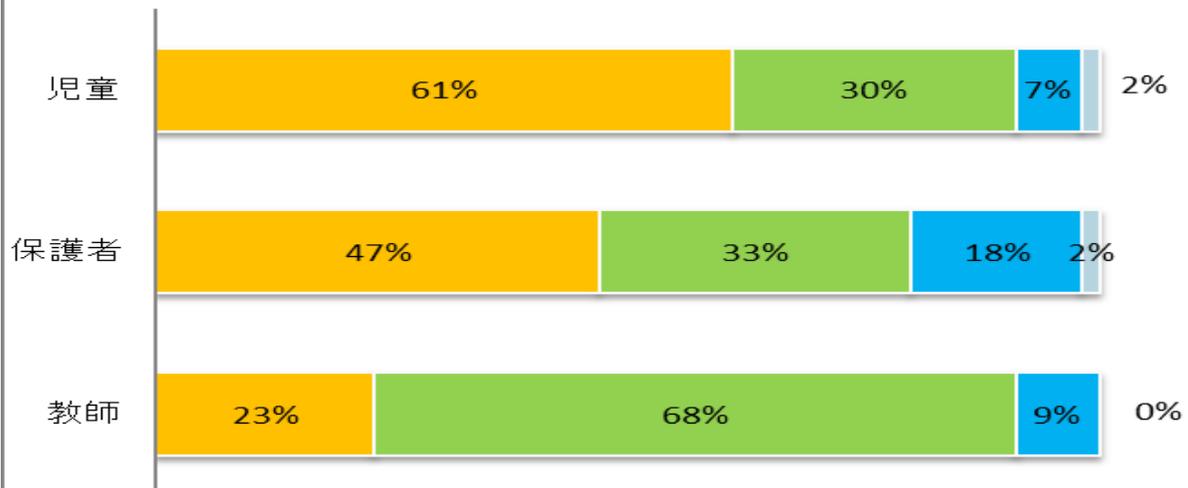
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない



児童と保護者・教師の感じ方にずれが見られます。今後も家庭と連携して、整理整頓に係る指導の充実と見届けを細やかに行ってまいります。

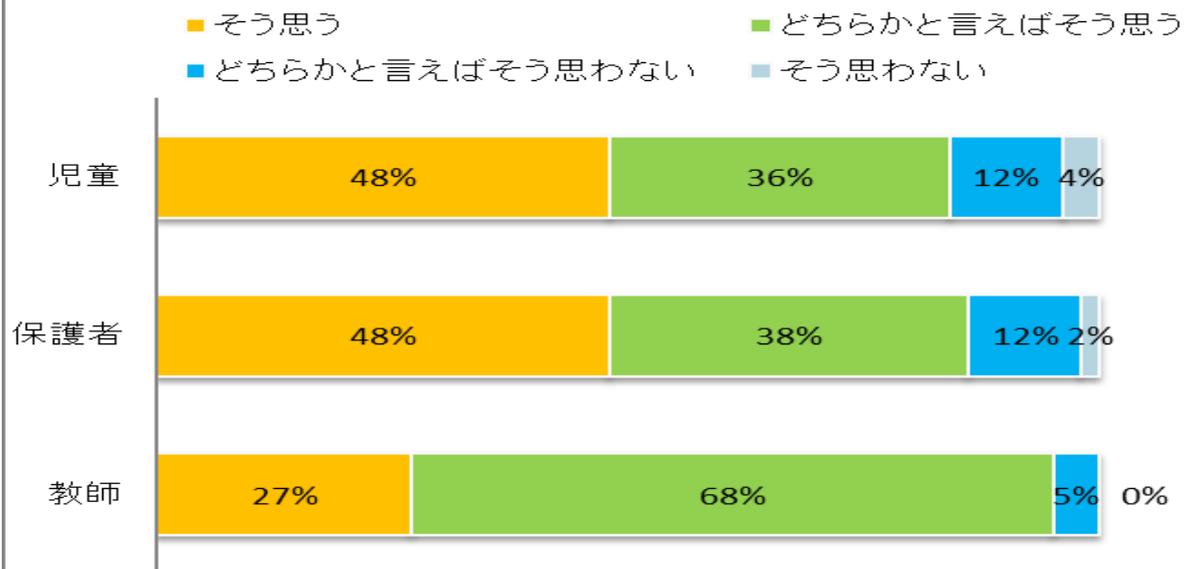
## 10. 体力づくりに取り組んでいるか

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない



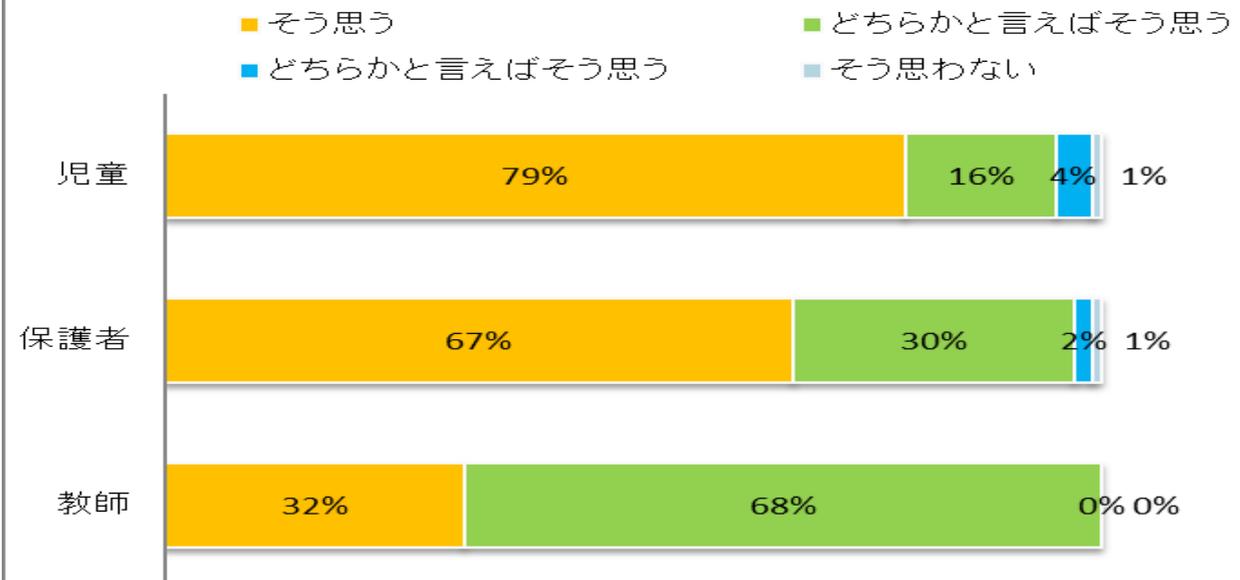
肯定的な回答が多く見られました。概ね良好であると捉えられます。今後も年間をとおり、体力づくりに努めてまいります。

### 11. 早寝・早起き・朝ご飯を大切にしているか



基本的な生活習慣は、学校生活に大きく影響します。充実した学校生活を送ることができるよう、引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。

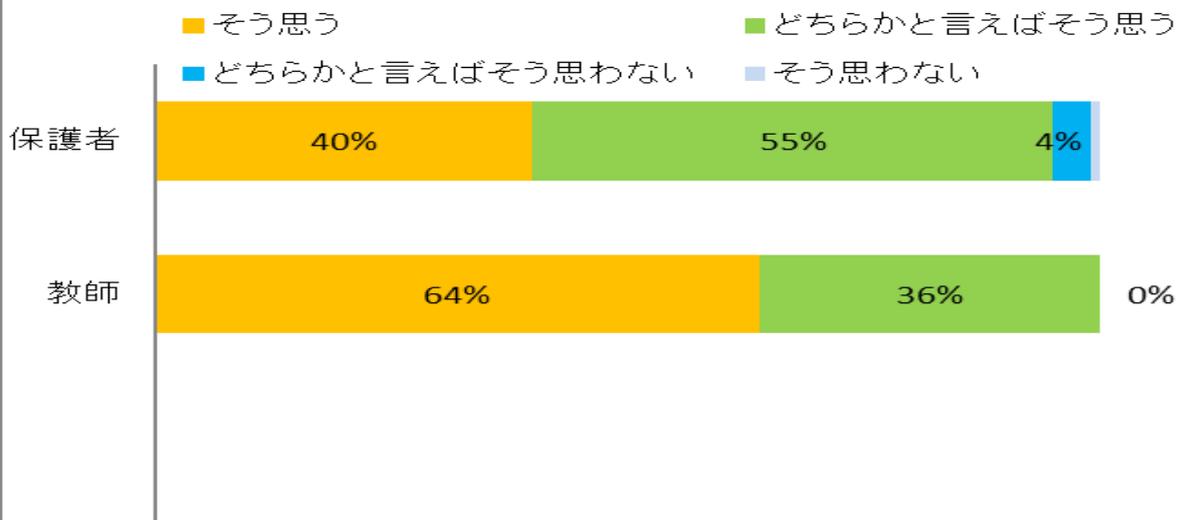
### 12. 事件や事故にあわないよう生活しているか



肯定的な回答が9割を超えています。今後も、家庭・地域と連携するとともに、児童自身の安全意識の向上を図ってまいります。

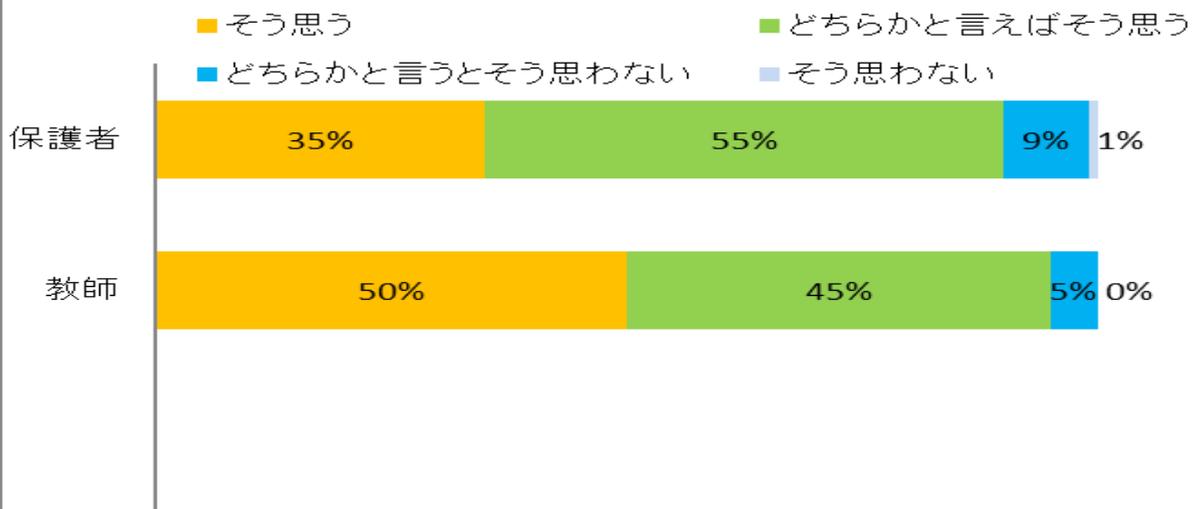
## 学校評価Ⅱ

### 1. 家庭・地域との連携



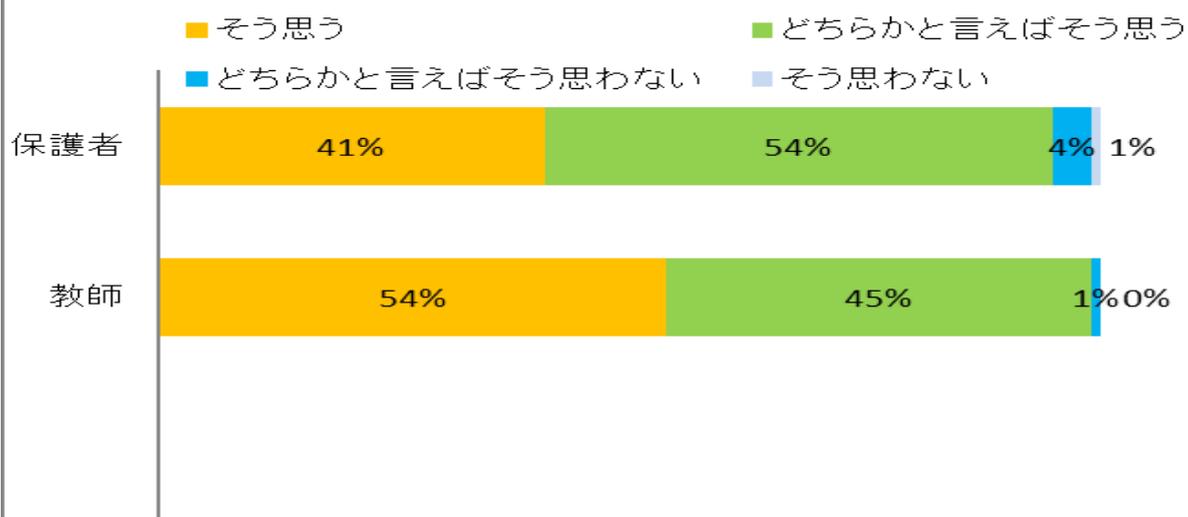
9割を超える肯定的な回答が見られました。今後も、家庭や地域との連携を密にした取組を継続して行ってまいります。

### 2. 生活指導の対応



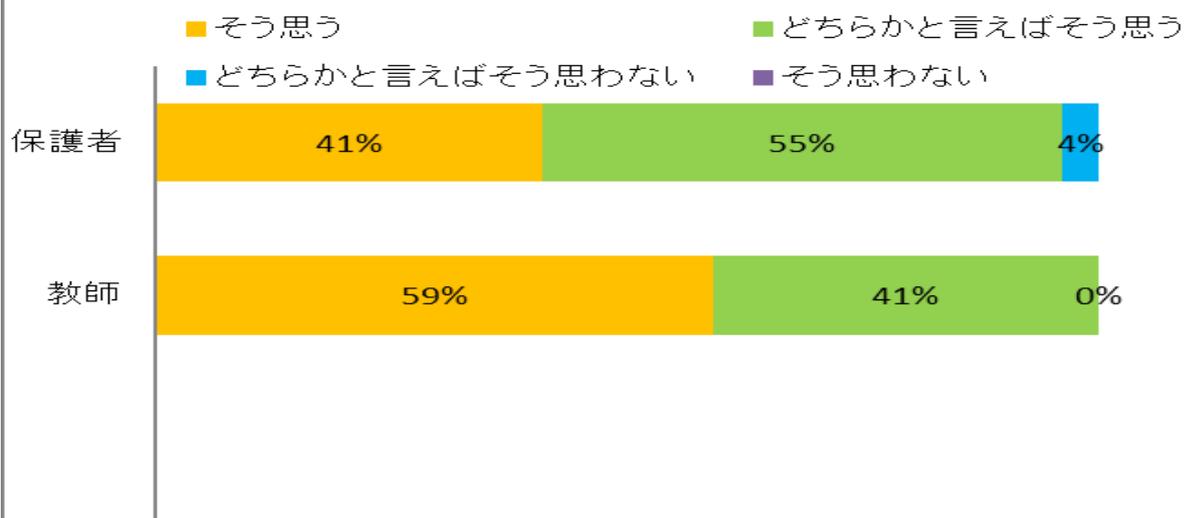
9割を超える肯定的な回答が見られました。今後も学校と保護者が共通理解・共通行動がとれるよう、学級懇談会や個別面談・教育相談の場を充実させてまいります。

### 3. 学習指導法の工夫



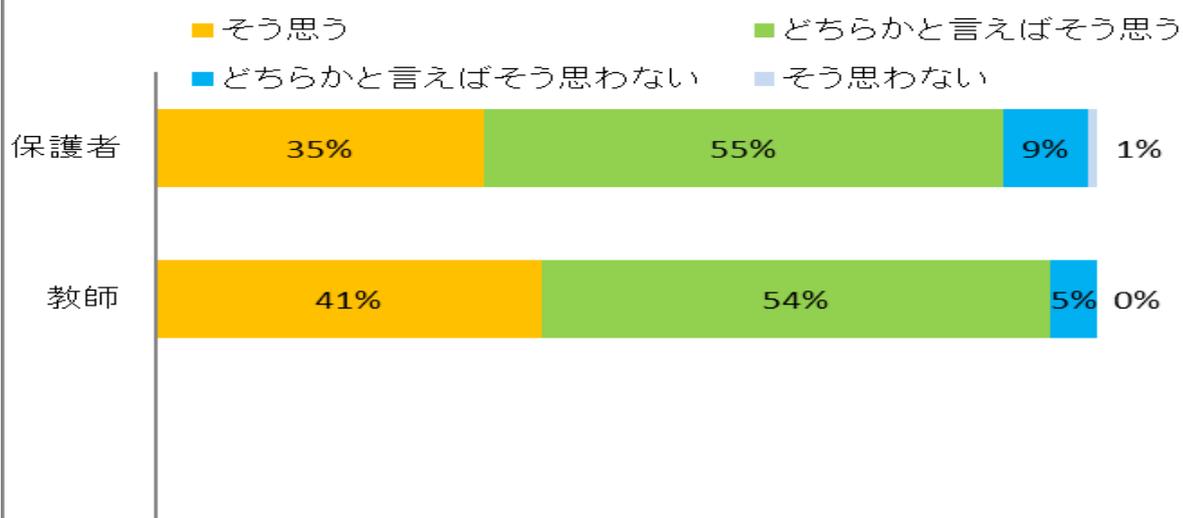
肯定的な回答が9割を超えています。今後も、教職員一人一人が研修に努め、確かな学力の定着を目指していきます。

### 4. 体力づくり・健康づくり



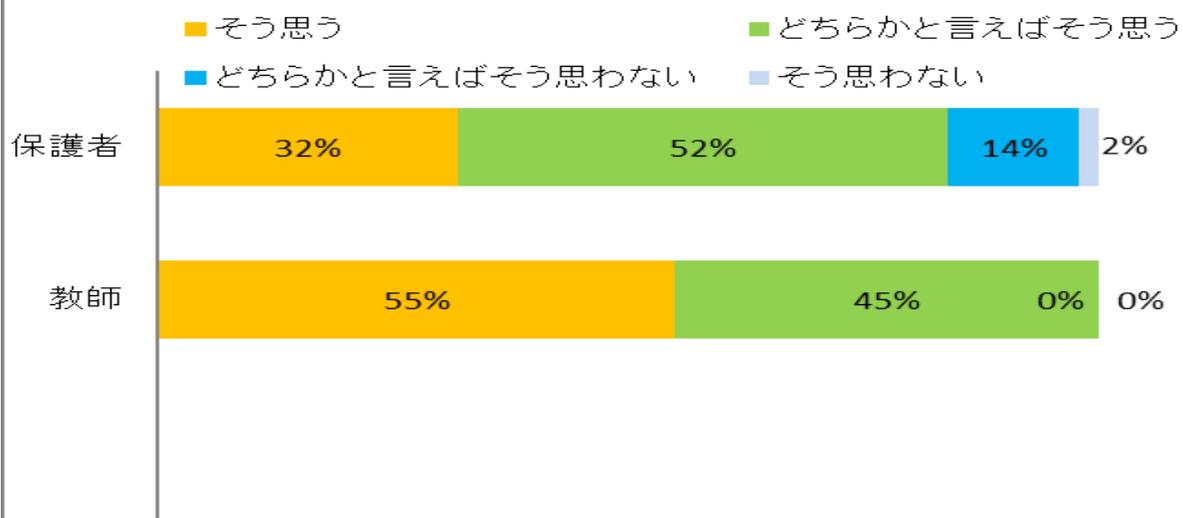
肯定的な回答が9割を超えています。今後も、保護者の協力を得ながら、児童の体力向上と健康づくりに係る指導を充実させてまいります。

## 5. 豊かな心の育成



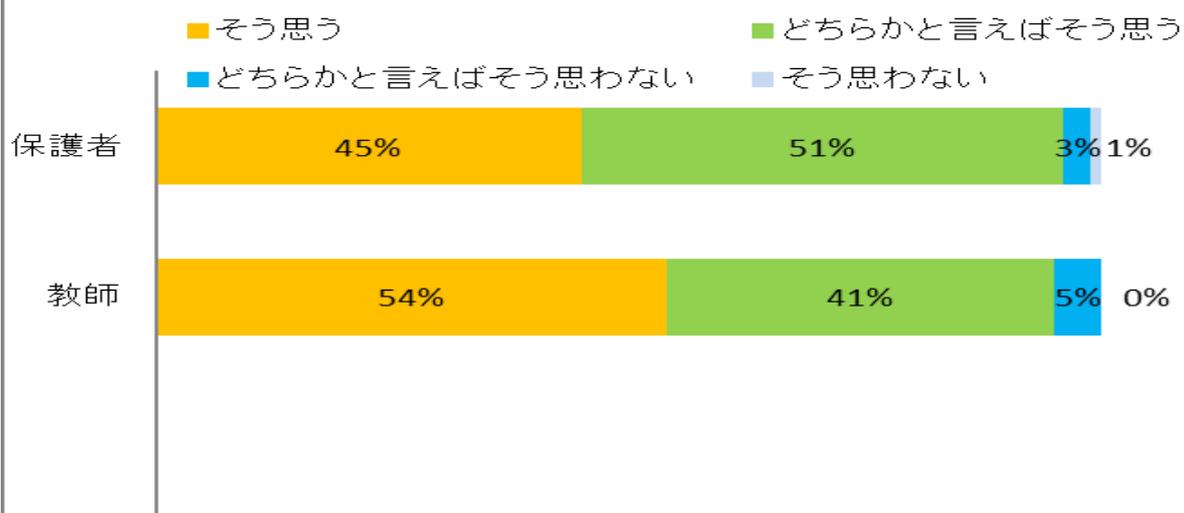
肯定的な回答が9割を超えています。今後も家庭・地域との連携を図りながら、全教育課程をとおして豊かな心の醸成に努めてまいります。

## 6. 子供への公平な評価の実施



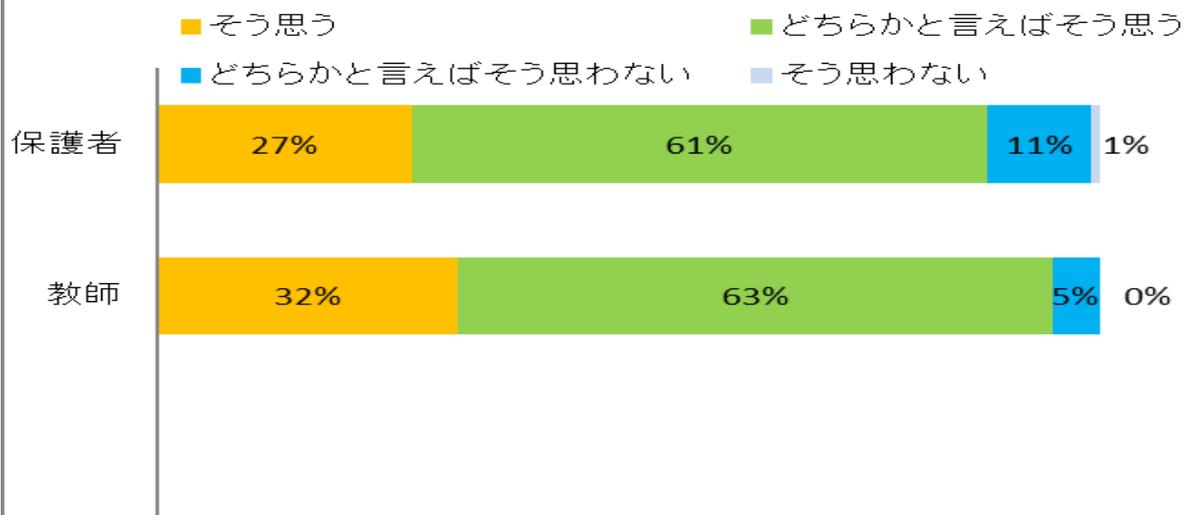
肯定的な回答が多く見られました。今後も今以上に、児童の様子を細やかに把握し、適切な励ましや声かけをしてまいります。

## 7. 子どもへの安全指導



学校での安全指導とともに、保護者の方々の登校指導や「出来ることからやろう会」の皆さんのご協力により、児童一人一人の安全が担保されています。

## 8. 教育環境の整備



肯定的な回答が多かったです。今後も、学校応援団ボランティアの方々や関係機関と連携を図り、教育環境の整備に努めてまいります。

# 令和5年度 学校評価 ～ 自由記述 ～

## [成果]

- 「学校に行きたくない」と言われるかと覚悟していたのですが、言うことなく過ごしていてほっとしています。いつもありがとうございます。
- おかげさまでとても楽しく学校に通えています。
- 学校生活は楽しそうです。先生方とお友達のおかげですとても感謝しております。休み時間に鉄棒ができたのを褒めてくれたと子供が話してくれました。お忙しい中、休み時間にまで子供を見てくださりありがとうございます。
- 2年生から音楽が専科になって、音楽のある日は特に楽しみにしているようです。プリントにも先生が丁寧なコメントを書いて返してくださるので親子ともに嬉しく思います。
- 落ち着いている学校なので、毎日安心して送り出せます。感謝でいっぱいです。
- 学校でお会いすれば気持ちの良い挨拶をしてくださり、どの教職員の方も子ども達に一生懸命寄り添ってくださっている印象です。いつもありがとうございます。
- 毎日元気に登校できることに感謝しかありません。これからも、よろしくお願い致します。

## [課題]

### 〈学習〉

- ▼持ち物や課題の案内が不十分なことがたまにあります。図工などの材料を用意する必要がある時に、1週間もない時間で用意しなくてはならないことがありました。少なくとも2週間以上前にはご連絡が欲しいです。
- ▼毎週末使わないタブレットを持ち帰らせるのは止めていただきたいです。金曜日の持ち帰り荷物が多く、低学年には負担になっています。ランドセルは、親が持ってもびっくりする重さになっています。
- ▼宿題を増やして欲しい。

### 〈学校より〉

→ 現在、学校と家庭及び地域で共に児童の教育を担う重要性が、一層高まっています。学力の向上も喫緊の課題です。コロナ禍を経て、ICT教育が全国的に定着することとなり、日々、タブレットの活用が図られるようになりました。学習用具については、可能な限り児童の負担を減らすことができるよう再検討してまいります。宿題に関しては、子供たちの過重な負担にならないように、発達段階に応じて適切な量及び内容を検討してまいります。内牧っ子にどのような力をつけさせることが必要なのかを教職員で検討し、保護者の皆様に教育活動への支援・協力をお願いしてまいります。

## 〈生活〉

▼言葉遣いがとても悪くとても気になります。

▼お友達だけでなく保護者の方にも元気に挨拶できるようになればいいと思います。

▼苦手なお友達との付き合い方について、どう過ごせば良いのか悩んでいるように思います。

▼時期的に難しいのかと思いますが、担任が途中で代わる場合は希望制で個人面談等で新しい担任の先生とお話しする機会があると良いと思います。

▼もう少し学校の様子がわかるとありがたいです。

<学校より>

→ お子様の学校生活への不安や悩み等については、学期ごとに教育相談日を設けておりますのでご相談ください。また、教育相談日に限らず、その都度ご連絡いただいてもお話をお伺いしますのでいつでもお気軽にご相談ください。

また、本年度もスクールカウンセラーが来校しました。来年度も予定していますので、ご相談ください。

基本的な生活習慣の定着につきましては、引き続き保護者の方のご協力をお願いいたします。

## 〈行事〉

▼お弁当の日の趣旨はとても良いのですが、形骸化しているようにも感じます。

▼運動会の徒競走や先日の持久走大会について、なぜ順位をつけないのでしょうか。

<学校より>

→ 本校の食育は、産直の里「内牧」に位置する内牧小学校の特色ある教育活動の一つです。おにぎりづくりの練習として、「自分でつくるお弁当の日」を毎年度設定しています。また、「学校・家庭・地域と三者一体となって進める～内牧小のつながる食育～」として推進している中で、各ご家庭には各学年の発達段階に応じたおにぎり（お弁当）づくりにご協力をいただきありがとうございます。今後も、ご理解の上ご協力をお願いします。

また、学校行事につきましては、ねらいに添った形で児童にとって教育効果が上がるように、その年度の反省点を次年度にしっかりと生かしていきます。

## 〈安全〉

▼通学の道が田んぼの草で覆われていて子供の通学状況を遠くから確認できず心配です。

▼学校施設の老朽化が進んでいるので、修繕箇所がある場合、市に迅速にご対応いただきたいです。

<学校より>

→ 学校は、子どもたちが安心・安全に学べる場でなければなりません。児童の登下校等の安全については、PTAや地域の方の力を借りながら子供たちの安心・安全につなげてまいりたいと思います。ぜひ、ご支援・ご協力をお願いいたします。

また、施設・設備につきましては、日々複数の職員で点検してしています。修繕等が必要な際は、その都度、市の担当に引き続き要望をしていきます。

## 〈その他〉

▼五年生は、1クラスあたりの児童の人数が多過ぎます。感染症のリスクも高まり、先生がクラス全体をまとめることも大変だと思えます。以前のように、3クラスに戻してください。

＜学校より＞

→ 1クラスの人数につきましては、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で定められています。1学級の人数の上限が35人に引き下げになる改正義務教育標準法が可決されましたが、2021年3月に可決されたため、残念ながら現5年生はその対象となりませんので引き続き来年度も2学級となります。

※ 低学年の人数の上限が35人であったのは、埼玉県が「国の標準学級編制に伴った教員の配当基準」について、特例として実施していたからです。

## 〈PTA〉

▼PTAの人数が無駄に多すぎる、今少子化でPTA削減するのが流れなのでもっと少なくするべきです。校外とかは子供の安全面で必要だと思いますがその他は出来ない事は削除した方が良いでしょう。

▼登校時間が遅くなる場合、朝の旗振りの保護者負担を無くす(外注する等)ことを検討して頂けたら有難いです。今も、仕事を遅刻等調整して旗振り担当してる家庭も有れば、最初から仕事を理由に辞退している家庭も有り、免除の基準もバラバラで、不公平です。時間が遅くなると辞退される方も増えると思います。保護者同士の無用なトラブルを避けるために、免除の基準等は、校外委員に一任せず、学校や市が説明して頂けたら幸いです。

＜学校より＞

→ PTAにて検討していただき、協力しながら引き続き児童のための活動を進めて参ります。

【最後に】

本校の教育活動に対して、多大なるご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。教職員の指導に対する励ましのお言葉や学校行事への取組を高く評価頂きましたこと、教職員一同感謝申し上げます。

また、一方でご指摘いただいたご意見をもとに、今後もこれまでの取組をさらに精査し、子どもの笑顔と活力あふれる学校づくりに努めてまいります。ご要望につきましては、春日部市や教育委員会との連携を図りながら進めて参ります。

今後ともよろしく願いいたします。